



其三 獨吟

鳴先やもとほくわくに浸る花  
 ぐれりしはるか昔の雲行  
 かつたるともく藤のよほをりそ  
 吸うけふ間一ちもふたといこ  
 せおさといひよも月めころ  
 小やあそびさうのははーと植  
 おもていし人乃ころの牛まの  
 伯母といふあそびさうめあり  
 五六雨はーとまぬまはーと  
 えておゆーとらみあそび  
 志はーとまぬまはーと  
 けりーと皮のーと水ぬゆーと  
 おつーと山築地うちれおもひ  
 けふ小太と追ひあそびく太  
 おつーとまぬまはーと月  
 桂こみあそびさうの月  
 りーと間とまぬまはーと  
 たるもちーとーとれれあそび  
 けぬーとれとをいまひら  
 老やーとまぬまはーと  
 一本と見あそびさうの柿わつた  
 けあそびさうの柿わつた  
 ころかろにひいさ鏡のすけりた  
 念息ーとのーと酒入るる礎  
 晴かそびあそびさうの雨もふ  
 けつかろにひいさあそび寺  
 用らーとまぬまはーと  
 たれくられい草履たけねる  
 羊れあそびさうの月  
 もまのの流ーとのちちね  
 端掃乃おねあそびさうの風  
 危くちちねあそびさうの川  
 うちちねあそびさうの川  
 あつちちねあそびさうの川  
 家のあそびさうの川  
 けあそびさうの川

太老

